

年 報

令和5年度版

(公財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

序

昭和52年、当センターは「財団法人岩手県埋蔵文化財センター」として設立され、それ以降、岩手県教育委員会の御指導と調整、並びに関係機関の御協力をいただきながら、本県における開発事業に伴う発掘調査推進の一翼を担って参りました。

令和5年度は、一般国道4号バイパスをはじめとする道路建設や県の農業基盤整備事業のほか、自治体の工業団地整備と小学校の建設・整備に伴う発掘調査を実施し、多くの成果を得ることができました。また、県内各地域の宝である埋蔵文化財の普及事業として、沿岸北部の普代村において「埋蔵文化財展」を2日間開催し、期間中250名を超える方々に出土資料等をご覧いただきました。

本書は、当該年度に実施した当センターの発掘調査並びに室内での整理作業をはじめ、報告書の刊行、普及啓発活動、調査・研究等の状況を簡潔にまとめたものです。

郷土いわての歴史に関わる埋蔵文化財の保護と普及にあたり、皆様に御活用いただきますようお願い申し上げます。

令和6年7月

(公財)岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

所長 岩 渕 計

目 次

序	
I 埋蔵文化財センターの概要	1
1 設立の主旨	1
2 治 革	1
3 組 織	2
4 職員数の推移	3
5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移	3
6 受託事業費の推移	4
II 事業の概要	5
1 管理業務	5
(1)受託事業	5
(2)研修、諸会議等	5
2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務	5
(1)発掘調査業務	5
(2)整理業務	6
(3)報告書発刊業務	6
3 普及業務	11
(1)受託業務	11
①埋蔵文化財展	11
②埋蔵文化財発掘調査技術講習会	11
③埋蔵文化財公開講座	12
④岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発刊	12
⑤資料保管・管理	13
(2)自主事業	15
①遺跡報告会	15
②資格取得	15
③研 修	15
④発 刊	16
⑤図 書 管 理	17
⑥カラースライドデジタル化	17
⑦所内展示	17
⑧ホームページ運営	17
⑨遺跡見学・体験学習・教職員研修・現地説明会・現地公開	18
4 外部協力	18
(1)講演・研究発表・会議・指導	18
(2)執筆等	19
職員名簿	20
アクセス	21

I 埋蔵文化財センターの概要

1 設立の主旨

豊かな自然に恵まれた岩手県は旧石器時代以来生活の舞台となっており、「埋蔵文化財の宝庫」と呼ばれるほど数多くの文化遺産が受け継がれてきました。それは、時に縄文人の作ったおびただしい数の土偶であったり、12世紀の東日本最大の都市「平泉遺跡群」であったりします。

一方、高速交通網の整備をはじめ多くの開発事業が促進され、これにより遺跡の発掘調査が急増し、調査体制の充実や出土遺物の整理・収蔵を図る施設の建設が要請されることになりました。

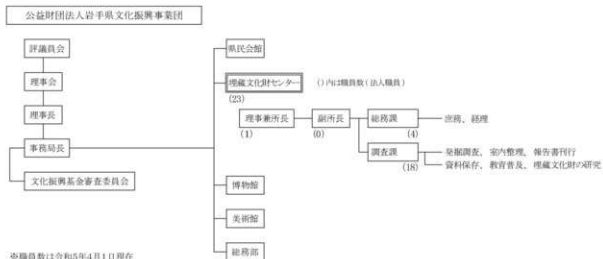
公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターは、このような状況に対処するために設立され、埋蔵文化財の調査、研究、保護思想の普及・啓発などを総合的に行っています。

2 沿革

昭和52年4月	財団法人岩手県埋蔵文化財センター設立。組織は総務課、調査課の二課体制 盛岡市向中野39番地の盛岡家畜保健衛生所の旧建物 1,383㎡、旧建物 374㎡ (事務所建 326㎡、車庫 32㎡、雑屋建 16㎡)を借り受け事務所とした
昭和53年10月	所長室、事務室等の管理棟(プレハブ)及び収蔵庫(プレハブ)を建築
昭和54年2月	第1回埋蔵文化財展(市町村巡回)を開催(盛岡市)
昭和55年1月	第1回埋蔵文化財公開講座を開催(盛岡市)
昭和56年4月	岩手県立埋蔵文化財センター庁舎完成(盛岡市下飯岡11地割185番)。同庁舎の一部を借り受け事務所を移転。資料課を新設し三課体制となる
昭和59年11月	機材収蔵庫(旧北プレハブ棟、2階建 580㎡)をリースにより設置
昭和60年3月	第24回理事会において、財団法人の解散と残余財産を新財団法人に引き継ぐことに決定
昭和60年4月	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる 総務課を管理課に改称。管理課、調査課、資料課の体制となる
平成2年4月	隣接の教育センター分館を収蔵庫(960㎡)として借用
平成2年11月	室内整理作業棟(旧南プレハブ2階建 660㎡)をリースにより設置
平成8年3月	県予算により整理作業棟(呼称：新プレハブ 2階建プレハブ、654.76㎡)と収蔵庫(平屋建プレハブ 327㎡)2棟建設 教育センター分館収蔵庫取り壊しに伴い出土品を移動
平成9年8月	プレハブ棟に冷房機を設置
平成11年4月	岩手県立埋蔵文化財センターの施設管理運営業務を受託 調査課を調査第一課に、資料課を調査第二課に改称
平成12年2月	北山倉庫(旧盲学校校舎)に出土品の一部を移動
平成12年8月	機材収蔵庫(プレハブ2階建、リース物件)を建替え 本館改修(屋根、外壁)工事及び浄化槽改修工事を実施
平成13年6月	本館冷房設備設置工事を実施
平成13年9月	水道配水管漏水補修工事を実施
平成14年9月	旧衛生研究所に出土品の一部を移動
平成15年10月	本館耐震診断調査を実施

平成17年3月	自家発電設備補修工事を実施
平成18年4月	管理課を総務課に改称
平成22年4月	旧南プレハブ老朽化のため解体
平成23年4月	公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターとなる
平成24年4月	調査第一課及び調査第二課を調査課に統合
平成25年4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員3名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員7名とOB職員3名の任用
平成25年11月	盛岡市向中野3丁目18-35に事務所を借り室内整理室の分室とする(～平成26年3月)
平成26年2月	室内整理作業棟(呼称：南プレハブ 平屋建 334.65㎡、リース物件)の増設
平成26年4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員6名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員8名とOB職員6名の任用
平成26年11月	盛岡市西仙北1丁目16-10に事務所を借り室内整理室の分室とする(～令和2年3月)
平成27年4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員5名と岩手県から3名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員5名とOB職員5名の任用
平成28年4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員3名と岩手県から2名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員1名とOB職員4名の任用
平成29年2月	矢巾町大字広宮沢第10地割506番地2に事務所等を借り室内整理室の分室とする(～平成31年3月)
平成29年4月	東日本大震災復興調査のため、他県法人からの出向職員4名と岩手県から1名の派遣職員の受け入れ及び期限付調査員3名とOB職員3名の任用
平成30年4月	東日本大震災復興調査及び支援のため、期限付調査員3名とOB職員4名の任用及び福島県文化振興財団に職員1名の派遣
平成31年4月	東日本大震災復興調査支援のため、福島県文化振興財団に職員1名の派遣
令和2年4月	東日本大震災復興調査支援のため、福島県文化振興財団に職員1名の派遣

3 組織



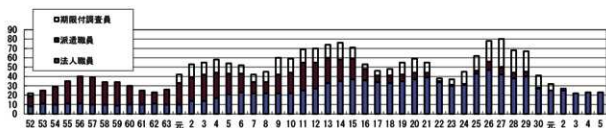
4 職員数の推移(昭和52年度～令和5年度)

(人)

(財)岩手県埋蔵文化財センター											(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター											
年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
法人職員	8	11	10	11	11	10	10	9	10	10	11	10	10	14	14	14	17	21	23	22	22	22
派遣職員	11	14	19	24	29	29	24	25	20	15	12	16	23	25	28	27	22	20	12	12	20	22
期限付調査員	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	14	13	14	11	9	8	11	18	15
計	22	25	29	35	40	39	34	34	30	25	23	26	42	53	55	58	54	52	42	45	60	59

(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター											(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター											
年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
法人職員	25	27	33	35	37	36	34	33	35	37	39	34	30	31	43	47	42	38	40	27	25	25
派遣職員	30	28	27	23	22	12	7	8	7	7	5	1	1	1	3	9	8	6	5	1	0	0
期限付調査員	14	15	14	18	12	5	5	7	13	15	11	3	6	13	16	22	30	24	22	13	7	2
計	69	70	74	76	71	53	46	48	55	59	55	38	37	45	62	78	80	68	67	41	32	27

(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター			
年度	3	4	5
法人職員	22	23	23
派遣職員	0	0	0
期限付調査員	0	0	0
計	22	23	23



5 発掘調査事業量(調査面積・遺跡数)の推移(昭和52年度～令和5年度実績)

(千㎡・件)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
面積	84	112	155	167	139	124	105	114	98	78	64	77	146	200	143	161	174	155	95	121	157	160
遺跡数(件)	18	22	27	22	24	15	16	17	17	14	20	27	27	39	30	32	31	32	33	34	56	46

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
面積	198	186	190	163	162	175	205	253	242	197	151	100	115	94	196	176	169	130	100	51	103	50
遺跡数(件)	48	48	47	47	42	40	47	49	63	59	46	31	30	20	38	44	36	31	33	18	16	9

年度	3	4	5
面積	34	72	127
遺跡数(件)	11	9	10

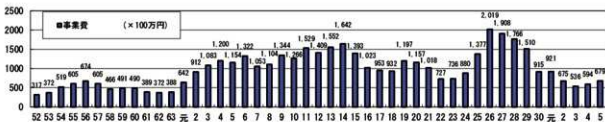


6 受託事業費の推移(昭和52年度～令和5年度実績) ※事業費百万円未満四捨五入

(百万円)

年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
事業費(×100万円)	317	372	519	605	674	605	466	491	490	389	372	388	642	912	1,083	1,390	1,154	1,322	1,053	1,104	1,344	1,266	1,529
年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2		
事業費(×100万円)	1,409	1,502	1,642	1,303	1,023	953	932	1,197	1,157	1,018	727	736	880	1,377	2,019	1,908	1,766	1,519	915	921	675		
年度	3	4	5																				
事業費(×100万円)	536	594	679																				

平成11年度以降、管理受託収入、緊急雇用特別対策事業収入(平成16年度まで及び21～23年度)を含む。



II 事業の概要

1 管理業務

(1) 受託事業(施設の管理運営)

① 岩手県立埋蔵文化財センターの管理運営業務受託

本館、室内整理作業棟、収蔵庫2棟、器材収蔵庫棟等の施設・設備の管理保全

② 出土遺物の保管管理

特別収蔵庫(本館2階)、一般収蔵庫(本館3階)、収蔵庫A・B棟のほか、旧東和高校体育館に遺物を保管

(2) 研修、諸会議等(専門職員研修等を除く)

① 職員研修(事業団研修)

実施なし

② 安全衛生関係

安全衛生委員会 月1回(労働安全衛生法第18条第1項に基づく設置)

救急救命講習(AEDの使い方、その他応急措置)

※新型コロナウイルス感染拡大防止で講師確保が困難のため中止

安全及び衛生管理体制の充実

安全衛生推進者養成講習(受講1名)

第二種衛生管理者準備講習(受講2名)

③ 諸会議

事業団理事会 5月23日、6月13日、11月15日、3月19日

事業団評議員会 6月13日

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課・事業団 埋蔵文化財業務連絡会 5月26日

2 発掘調査業務・整理業務・報告書発刊業務

(1) 発掘調査業務

令和5年度の発掘調査は、当初は9遺跡、面積にして128,874㎡を対象に開始した。年度の後半に住田町中坪Ⅲ遺跡の内容確認調査が新たに追加され、この他数遺跡でも面積の増減があったことから、最終的には10遺跡、127,210㎡の調査を実施した。前年度と比較すると、面積比は170%となっている。今年度は、県央部を中心に沿岸地区の3遺跡を加え、県内4市1町1村に所在する各遺跡の調査を終えたが、これらの調査原因は、国関係では国道4号開連1遺跡、県の農業基盤整備に係る圃場整備事業3遺跡、工業団地整備・小学校整備・消防施設建設などの自治体支援が6遺跡となっている。

時代ごとに調査成果を概観する。花巻市折居遺跡は、遺跡北端を東側に流れる寒沢川に形成された段丘上にあり、縄文時代前期末から中期初めにかけての大形住居や貯蔵穴のほか、複数基が並ぶ円形の陥穴など、多種多様の遺構が確認された。当該期の集落内の遺構の配置や占地を考察するうえで貴重な成果となったが、次年度も調査が続けられることから、更なる成果の追加が期待される。沿岸部では、令和4年度からの継続調査であった釜石市太田林遺跡で、縄文時代前期の大形堅穴住居や貯蔵穴が、野田村中平遺跡からも同時期の集落を構成する遺構が見つかった。この他、花巻市山

ノ神Ⅱ遺跡、北上市岡田遺跡・広表遺跡からは数多くの陥し穴が検出され、3遺跡の総数は360基以上を数える。いずれの遺跡においても、平面形には溝状と凹形の2種類があるほか、仕掛けに関わる痕跡に共通性がみられる部分もあり、県内内陸地域の狩猟の様子を知る手がかりが加えられた。最後に住田町の中坪Ⅲ遺跡では、次年度の本調査に向けた内容確認調査を実施、晩期の遺構・遺物を確認しており、本調査が待たれる。

弥生時代では、埋没沢から弥生時代中期の遺物が大量に出土していた花巻市天ヶ沢遺跡の継続調査を行った。出土遺物には、佐渡を含む北陸地方との関連を示す碧玉製の管玉（くわんたま）や、シカ類と思われる動物形土製品も数点ずつ出土しており、このことは当該地域との流通・交流の証左と言える。

平安時代に移るが、関東系とも言われる全長の短いカマド施設をもつ竪穴住居が数棟見つかった岡田遺跡、鉄関連の遺構である炭窯9基が確認された花巻市山ノ神Ⅱ遺跡が挙げられる。また、奥州市中林下遺跡では、12世紀藤原氏時代の溝や土坑、中・近世の遺構が新たに確認され、各時期における集落規模はさらに広がりを持つことが明らかになった。

奥州市胆沢の作屋敷遺跡からは、三期12棟の掘立柱建物と付属する池状施設や井戸、そして区画溝など、中世の居館に関わる遺構群が確認された。出土遺物から、室町時代14～15世紀代に属するものと考えられるが、今年度は野外調査のみを行い、資料の整理作業は次年度に行うこととなっている。

以上、今年度の調査成果をみてきたが、各遺跡の調査成果は、以下の3点にまとめられる。

- ①県央部における縄文時代・平安時代の狩猟場および集落の様相
- ②県内資料の少ない弥生時代中期の土器群とその頃の流通・交流を示す管玉などの出土
- ③県央から県南部における中世室町時代の有力者の屋敷構造

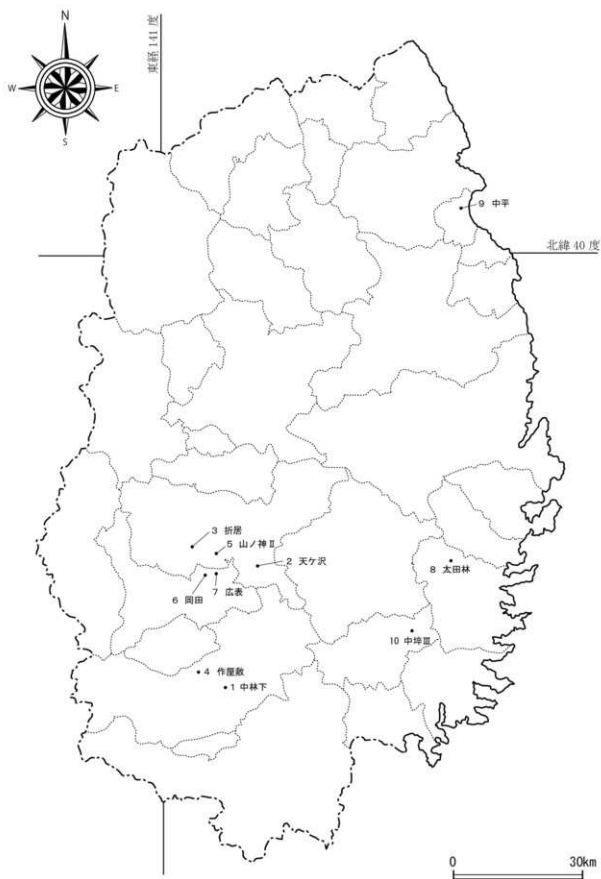
次年度も継続調査が見込まれる遺跡がいくつかあることから、更なる調査資料の蓄積を進めつつ、各種普及活動を実施することにより、埋蔵文化財の保護と活用を進めていきたいと考えている。

(2) 整理業務

令和5年度は、前年度整理作業が未了となっていた奥州市の境遺跡、山下遺跡について、2か月間にわたり室内整理を行った。平安時代の竪穴住居1棟と土坑類が検出されている遺跡である。

(3) 報告書発刊業務

令和5年度は、3遺跡3冊の調査報告書を刊行した。内訳は、三陸沿岸道路関連事業の国関係2冊、県の農政部関係1冊である。



令和5年度発掘調査遺跡位置図

表1 令和5年度発掘調査一覧

No.	遺跡名	所在地	面積 (㎡)	調査期間	関連事業名	調査成果
1	中林下遺跡	奥州市	1,820	9/4～10/31	一般国道4号 水沢東バイパス	(検出遺構)古代：堅穴状遺構1、土坑7、溝1 中世：土坑3、墓壇1、溝1、近世：溝1、時期不明：掘立柱建物4、柱穴283、溝之、欄列2、性格不明遺構2 (出土遺物)土師器・須恵器・かわらけ・陶磁器小2箱、銭貨9点、木製品(楕円1点・箱材・棒状)、砥石1点、瓦1点、鉄製品2点、骨片など
2	天ヶ沢遺跡	花巻市	2,200	4/17～7/14	経営体育成基盤 整備事業(砂子 地区)	(検出遺構)縄文：土坑1、土器埋設2 縄文～弥生：沢跡(遺物包含層)1 近世以降か：掘立柱建物1、柱穴85 (出土遺物)縄文土器大30箱、剥片石器中4箱、菅玉2点、動物形土製品2点ほか
3	折居遺跡	花巻市	2,036	7/18～11/30	農業農村整備事 業(農業競争力 強化基盤整備事 業経営体育成型 太田地区)	(検出遺構)縄文：堅穴住居16(うち大型6)、堅穴状遺構13、貯蔵穴2、墓壇1、隔穴5、土坑29など (出土遺物)縄文土器大75箱、剥片石器類小13箱、礫石器中20箱、土偶・土玉各1点、その他土・石製品類
4	作屋敷遺跡	奥州市	1,465	10/16～12/21	経営体育成基盤 整備事業(若柳 中部地区)	(検出遺構)中世：掘立柱建物土坑12、土坑14、井戸状遺構1、溝11、池状遺構1、柱穴状ピット803 (出土遺物)土師器・須恵器小0.5箱、陶磁器小1箱(青磁碗・国産陶器など)、羽口1点、伊壁2点、鉄釘5点、跡物3点、銭貨34点など
5	山ノ神Ⅱ遺跡	花巻市	61,875	4/7～11/30	(仮称)花南産業 団地整備	(検出遺構)縄文：隔穴188、貯蔵穴6、土坑1、平安：炭窯9、時期不明：焼土1 (出土遺物)縄文土器・石器小1箱
6	岡田遺跡	北上市	40,100	4/10～11/30	北上市北部産業 団地整備	(検出遺構)縄文：隔穴123、土坑1、平安：堅穴住居6、時期不明：住居状遺構2、井戸跡1、土坑1 (出土遺物)縄文土器・石器敷点、土師器・須恵器大2箱
7	広表遺跡	北上市	15,226	4/10～10/31	北上市工業団地 整備	(検出遺構)縄文：堅穴住居4、土坑23、隔穴66、焼土遺構3、古代：堅穴住居1 時期不明：柱状土坑19 (出土遺物)縄文土器・土師器大9箱、石器大5箱、石製品3点、土製品1点
8	太田林遺跡	釜石市	488	5/1～8/31	橋野地区消防 屯所建設	(検出遺構)縄文：土坑1、土器埋設2 縄文～弥生：沢跡(遺物包含層)1 近世以降か：掘立柱建物1、柱穴85 (出土遺物)縄文土器大30箱、剥片石器中4箱、菅玉2点、動物形土製品2点ほか
9	中平遺跡	野田村	2,000	4/6～6/9	野田小学校整備	(検出遺構)縄文：堅穴住居4、土坑10、隔穴17 古代(平安)：堅穴住居1、土坑4 (出土遺物)縄文・古代土器小1箱、石器2点、鉄製品2点
10	中埜Ⅲ遺跡	住田町	対象3,570 のうち 終了0	11/1～11/30	林業関連施設建 設(仮)	(検出遺構)縄文：遺物包含層(後～晩期主体)、土坑、埋設土器2 (出土遺物)縄文土器大7箱、石器中25箱、土偶敷点、石棒類15点など
合計10遺跡			127,210			

表2 令和5年度整理業務一覧

No.	遺跡名	所在地	整理期間	関連事業名	備考
1	境遺跡、山下遺跡	奥州市	12/1～1/31	主要地方道一関北上線山下地区	令和4年度調査

表3 令和5年度発掘調査報告書発刊一覧

集数	遺跡名	所在地	委託者	担当者名	総頁数	印刷業者	調査年度
742	力持遺跡	菅代村	国土交通省東北地方整備局	村上拓	260	(株)吉田印刷	令和3年度
743	サンニヤ里遺跡	洋野町	三陸国道事務所	瀧澤二郎	60	(株)橋本印刷	令和3・4年度
744	中林下遺跡	奥州市	県南広域振興局農政部	北田勲	450	あへ印刷(株)	令和2・3年度
745	「令和5年度発掘調査報告書」 本報告：なし 調査概要：中林下遺跡、天ヶ沢遺跡、折居遺跡、作屋敷遺跡、 太田林遺跡、岡田遺跡、広表遺跡、山ノ神Ⅱ遺跡、中平遺跡、 中埜Ⅲ遺跡				24	大更印刷(株)	令和5年度



山ノ神Ⅱ遺跡 南から



折居遺跡 直上から



広表遺跡 縄文時代前期の竪穴住居



天ヶ沢遺跡 調査区全景



作屋敷遺跡 雪の中での調査



中埜Ⅲ遺跡 作業風景



岡田遺跡 現地説明会の様子



太田林遺跡 遺跡遠景



中平遺跡 遠方に海を望む



中林下遺跡 中世の墓・埋葬銭

3 普及業務

(1) 受託業務

岩手県教育委員会より委託を受け、次の事業を行っている。

① 埋蔵文化財展

令和5年度の第44回埋蔵文化財展は、普代村普代社会体育館を会場に、村民文化祭と期日を同じくして令和5年11月4日(土)から5日(日)の2日間開催した。本事業は、県内の遺跡発掘調査の成果を県民に公開し、埋蔵文化財への理解と保護思想の普及を図るために継続している展示会である。

今回は当センターがこれまでに普代村内で行った縄文時代3遺跡、近世鉄山1遺跡の計4遺跡の調査成果を紹介した。このうち力持遺跡は平成13年度から複数回の調査が行われており、おびただしい数の竪穴住居跡や豊富な円筒式土器、大木式土器が出土している。展示ではこれらの東北地方の南部と北部の特徴的な土器や長途遺跡の大型土器などが注目された。割沢遺跡の展示では、展示資料を前に鍛冶作業の方法などについて、見学者同士で語りあう姿も見られた。

また、土器パズルや拓本の体験コーナーを設け、多くの児童が興味をもって取り組んだ。2日間の入場者は259名であった。



埋蔵文化財展



埋蔵文化財展 体験コーナー

② 埋蔵文化財発掘調査技術講習会

毎年、県内の県及び市町村の埋蔵文化財担当職員と当埋蔵文化財センター職員を対象として、発掘調査に必要なとされる技術・知識の講習を行っている。

今年度は令和5年12月8日(金)に盛岡市の岩手県立博物館を会場に「放射性炭素年代測定の基礎と応用—暦年校正・分析事例と注意点・測定の将来—」をテーマに実施した。講師は日本考古学協会会員山田しょう氏で、放射性炭素年代測定の基礎的な知識と応用についての講義のほか、実際の暦年校正の方法をオックスフォード大学のシステムを用いて学んだ。受講者は40名であった。



技術講習会

③ 埋蔵文化財公開講座

令和6年1月28日(日)、いわて県民情報交流センター(アイーナ)を会場に開催した。講師は弘前大学人文社会科学部の上條信彦教授で「新しい手法から縄文時代の暮らしを探る」をテーマにご講演いただいた。

「縄文時代にタイムスリップしたような具体的な生活の日常が目には浮かぶような楽しい講義だった。」「もはや科学の世界、考古学の幅広さを感じた。今後の新たな発見が期待できる。」などの感想が寄せられた。受講者は108名であった。



公開講座

④ 岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」の発行

6月と2月の年2回、岩手県立埋蔵文化財センター所報「わらびて」を発刊している。令和5年度は148号と149号を発行した。



148号(令和5年6月30日発行)

148号の内容

- ・令和4年度に県教委及び市町村教委等が実施した発掘調査
- ・令和5年度(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの発掘調査
- ・平泉世界遺産ガイドダンスセンターへ行ってみよう!
- ・今年度の行事予定
- ・人事動向



149号(令和6年2月29日発行)

149号の内容

- ・令和5年度の(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター発掘調査の成果
- ・注目された遺跡
- ・随前高田市立博物館へ行ってみよう!
- ・令和5年度イベントの報告

⑤ 資料保管・管理

発掘調査で出土した遺物(埋蔵文化財)を整理・管理している。資料は岩手県教育委員会の通知を受け、貸出業務及び市町村への譲与対応を行っている。また、資料の実見対応や画像貸出等も行っている。

表4 市町村譲与

No.	市町村	集数	遺跡名	コンテナ数	譲与日	備考
1	洋野町	第726集	宿戸	613	令和5年4月17日	記録類別途譲与
2	金ヶ崎町	第741集	西根	1	令和5年7月7日	記録類別途譲与
			計	614		

表5 資料の実見

No.	受入日	申請者	資料名	内容	備考
1	4月19日	岩手県立博物館職員	南の又遺跡ほか土器、石器、陶磁器	展示借り受け事前調査	
2	4月26日	一関市教育委員会職員	河崎の棚擬定地出土土器、和向間珠等	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
3	5月15日	国立科学博物館長	内田貝塚ほか魚骨、獣骨、植物遺体	展示借り受け事前調査	
4	7月10日	一関市教育委員会職員	台太郎遺跡提版	指定文化財調査	写真撮影含む
5	8月3日	岩手大学平泉文化研究センター	千苜遺跡焼成土灰出土土器片	学術研究	
6	8月7日	北上市教育委員会職員	石曾根遺跡土器	論文作成	写真撮影含む
7	8月7日	個人(船内市役所職員)	山口館跡仏具	学術研究	
8	8月8日～9日	早稲田大学考古学研究所研究員	葦内遺跡ほか石棒類	学術研究	
9	9月4日	一戸町教育委員会	野尻田遺跡ほか一戸町内土器、石器、陶磁器等	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
10	9月13日	個人(盛岡大学元教授)	埜山牧場1遺跡B地区ほか旧石器	学術研究	
11	9月14日、15日、21日、22日、10月2日、3日	北上市史編さん考古部会員	物見崎遺跡ほか北上市内の赤生土器	学術研究	データ採取含む
12	9月19日～20日	岩手県立博物館職員	上里遺跡ほか土器、石製品等	展示借り受け事前調査	
13	9月20日	北海道大学大学院学生	台太郎遺跡ほか刀子等	修士論文作成	
14	9月22日	京都大学学生	葦内遺跡ほか土製品	卒論作成	写真撮影含む
15	10月3日	岩手大学教育学部教授	上鬼柳III遺跡ほか赤生土器	学術研究	写真撮影含む
16	10月12日	一関市博物館職員	相ノ沢遺跡土偶ほか	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
17	10月13日	東京都立大学教授ほか	葦内遺跡トーマスボール、現場図面	学術研究	
18	11月16日	個人(青森県埋蔵文化財センター)	馬立1遺跡ほか壺型土器等	論文作成	
19	11月29日	八戸市埋蔵文化財センター職員	明神下遺跡土器	報告書作成	写真撮影含む
20	12月4日	個人(新潟県埋蔵文化財調査事業団)	葦内遺跡木製品	学術研究	写真撮影含む
21	12月13日	岩手県立博物館職員	五庫1遺跡ほか土器、硯	学術研究	写真撮影含む
22	12月14日	一関市教育委員会職員	不動館跡 鑿	学術研究	写真撮影含む
23	12月21日	岩手大学教育学部教授	金附遺跡ほか土偶、土製品	学術研究	写真撮影含む
24	11月13日～14日、21日～22日	個人(青森県教育委員会)	縄文後期土器	学術研究	写真撮影含む
25	12月4日～5日	松戸市立博物館職員	沼久保遺跡ほか香炉形・壺型土器	展示借り受け事前調査	写真撮影含む
26	1月16日～18日	早稲田大学考古学研究所研究員	川目A遺跡ほか石棒類	学術研究	写真撮影含む
27	1月11日	個人(青森市教育委員会)	縄文後期土器	学術研究	写真撮影含む
28	2月13日	帝京大学教授	芋田沢田IV遺跡出土土器	学術研究	
29	3月18日	個人(札幌市)	中半入遺跡出土土器	学術研究	
30	3月22日	八戸市は川縄文館職員	相ノ沢遺跡・河崎の棚擬定地、川目A遺跡出土土器	展示借り受け事前調査	

表6 資料の貸出

No.	資料名	貸出期間	貸出先	目的
1	下鎮田Ⅱ遺跡ほか50点	5月22日～8月31日	岩手県立博物館	テーマ展
2	河崎の機織定地ほか16点	5月29日～7月11日	せんまや街角資料館	理文展
3	川目A遺跡ほか50点	6月20日～7月7日	高松小学校	社会科授業
4	相ノ沢遺跡ほか13点	6月5日～6月9日	とんぱ支援学校	社会科授業
5	六日市場遺跡ほか458点	9月15日～3月29日	平泉世界遺産ガイダンスセンター	企画展
6	小幡遺跡ほか20点	9月27日～1月24日	遺跡の学び館	企画展
7	松屋敷遺跡14点	10月2日～10月20日	岩手県立博物館	博字連携授業
8	仁昌寺Ⅱ遺跡ほか15点	10月2日～12月8日	一戸町御所野縄文博物館	企画展
9	長谷堂貝塚ほか52点	10月2日～8月4月30日	国立科学博物館(本館ほか全国8会場)	特別展
10	石田1・Ⅱ遺跡ほか42点	10月4日～12月8日	奥州市埋蔵文化財調査センター	特別展
11	相ノ沢遺跡ほか56点	11月22日～3月31日	一関市博物館	テーマ展
12	小平Ⅰ遺跡ほか95点	12月1日～3月31日	宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム	企画展
13	千苅遺跡ほか15点	2月23日～3月24日	北上市立埋蔵文化財センター(鬼の館)	理文展

表7 写真の貸出

No.	月	申請者	目的	遺跡名	資料内容	点数
1	4	岩手県立博物館	テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」で展示及び関連講座で上映、配布資料作成	蟹田Ⅲ遺跡ほか15遺跡	遺構写真	66
2	4	盛岡市遺跡の学び館	テーマ展「大昔のくらしとSDGs」	蕨内遺跡	遺構写真	1
3	4	盛岡市遺跡の学び館	企画展「大島遺跡にみる蝦夷社会の変容」で展示、図録への掲載	小幡遺跡4次ほか5遺跡	遺構写真・遺物写真	10
4	5	(株)ABCアーク	雑誌『歴史人』7月号に掲載	岡田遺跡	遺構写真	1
5	5	(株)ABCアーク	雑誌『歴史人』7月号に掲載	尾崎館遺跡	遺物写真	1
6	7	国土交通省岩手河川国道事務所	国の公表資料で使用	中林下遺跡	遺構写真	7
7	8	個人(日本考古学協会会員)	防災考古学会及び日本考古学会での発表に使用	中村城跡	遺構写真	4
8	8	八幡平市博物館	企画展への展示、図録掲載	扇塚Ⅰほか1遺跡	遺構写真	8
9	9	山川出版社	書籍『30日間完成スピードマスター 日本文化史問題集』への掲載	駒坂遺跡	遺物写真	1
10	9	一関市立藤沢図書館	縄文体験型イベント「ワクドキ★縄文」への展示	相ノ沢遺跡	遺物写真	2
11	9	一戸町教育委員会	企画展「2023年！いちのへをたどる歴史の旅」への展示	野尻Ⅱ遺跡ほか2遺跡	遺構写真	6
12	9	個人(京都大学学生)	卒論執筆のため	川目A5次ほか2遺跡	遺物写真	11
13	9	宮古市教育委員会	崎山縄文の森ミュージアム企画展に展示・図録への掲載	松山館跡ほか3遺跡	遺構写真	5
14	9	奥州市埋蔵文化財調査センター	特別展「古墳からエミシへ」展示、図録への掲載	石田1・Ⅱ遺跡ほか4遺跡	遺構写真	19
15	10	岩手考古学会	三県合同シンポジウムのチラシに掲載	飯岡沢田遺跡	遺構写真	1
16	11	山田町	理文展「ふるさと山田の歴史と文化を守り伝えること」に展示	間木戸Ⅰ遺跡ほか10遺跡	報告書の写真	31
17	11	遠野市史編さん室	遠野市史へ掲載	権現前遺跡	遺構写真・遺物写真	7
18	12	遠野市史編さん室	遠野市史へ掲載	舞館跡ほか8遺跡	遺構写真	74
19	12	花巻市博物館	石鳥谷農業伝承館に展示	高畑遺跡ほか1遺跡	遺構写真	4
20	12	一関市博物館	「縄文時代のモノづくり」に展示	馬立Ⅰ遺跡ほか2遺跡	遺物写真	4
21	1	遠野市史編さん室	遠野市史へ掲載	大畑田遺跡ほか1遺跡	遺構図面・遺構写真	10
22	1	(株)スタジオタッククリエイティブ	『楽しく学べる歴史図鑑 土偶』	蕨内遺跡	遺物写真	1
23	2	大船渡市教育委員会	埋蔵文化財展パネルに使用	長谷堂貝塚	遺構写真・遺物写真	2
24	2	釜石市スポーツ文化部	太田林遺跡ミニ展示	太田林遺跡	遺構写真・遺物写真	12
25	2	奥州市教育委員会	全史協印「東北の史跡巡りガイド」に掲載	大清水上遺跡	遺構写真	1
26	2	岩手県立博物館	テーマ展「ふしぎな縄文」関連広報印刷物に掲載	長谷堂貝塚・川目A遺跡	遺物写真	4

No.	月	申請者	目的	遺跡名	資料内容	点数
27	3	(株)ハウフルス	テレビ番組「秘密のケンミンSHOW」で使用	山王山遺跡・間木戸1遺跡・上米内遺跡・下村遺跡	遺物写真	4
28	3	(株)ジャパン通信	「文化財発掘出土情報」に掲載	岡田遺跡・広表遺跡	遺跡写真・現況資料	10
29	3	山田町教育委員会	冊子「ふるさとやまだシリーズ③発掘調査された山田の遺跡」に掲載	石峠Ⅱ遺跡	遺構写真	4
30	3	(株)岩手朝日テレビ	震災関連番組で使用	高田城跡・石峠Ⅱ遺跡・高根遺跡・西平内1遺跡	遺構写真	4
31	3	遠野市史編さん室	遠野市史へ掲載	寒風遺跡・篠館跡・権現前遺跡・向里遺跡・大畑田遺跡・新里愛宕裏遺跡・新田Ⅱ遺跡	遺構図版・遺物図版	22
32	3	遠野市史編さん室	遠野市史へ掲載	向里遺跡	遺物図版	2
					すべてデジタル計	339

(2) 自主事業

① 遺跡報告会

遺跡報告会は県からの受託業務の埋蔵文化財公開講座と同日の令和6年1月28日(日)午後、いわて県民情報交流センター(アイーナ)を会場に開催し、132名の参加があった。今年度は当センターが調査した縄文と平安の3遺跡について紹介した。



表8 遺跡報告会報告遺跡

遺跡報告会

No.	報告遺跡	所在地	時代と内容	報告者
1	山ノ神Ⅱ遺跡	花巻市	縄文時代前期の狩猟場。長方形や円形、溝状の陥し穴を188基検出。時期により多様な形状を見せる。平安時代の炭壘9基も検出。	主任文化財専門員 杉沢 昭太郎
2	広表遺跡	北上市	縄文時代前期の集落と狩猟場。陥し穴は66基を検出。形状は多様で中殿火山灰を含むものもある。平安時代の竪穴住居も1棟検出した。	主任文化財専門員 瀧 浩二郎
3	折居遺跡	花巻市	縄文時代前期末から中期初頭の大規模住居を含む集落跡。大型住居、中小住居、土坑の分布にまとまりがあり、意図的な配置と考えられる。	文化財調査員 野中 裕貴

② 資格取得

- 第二種衛生管理者 1名(主任文化財専門員 村木 敬)

③ 研修

●職員専門研修

- ◆令和5年5月26日(金)

「普通救命救急講習Ⅰ」講師 盛岡南消防署職員2名

- ◆令和6年2月9日(金)

「磨製石斧の製作工程について」講師 主任文化財専門員 村木 敬

「岡田遺跡出土旧石器について - 『東北日本の旧石器文化を語る会』発表の所内伝達講習Ⅰ」

講師 主任文化財専門員 北村 忠昭

●会計年度雇用職員(調査補助員)新任者研修

- ◆新任者研修1 令和5年4月4日(火)・5月1日(月)

「コンプライアンス、事業団就業規程、調査業務の概要、発掘調査にかかわる提出書の書き方、安全衛生管理」

- ◆新任者研修2 令和5年4月5日(水)「カメラ操作」、「光波・電子平板の実技」

- ◆新任者研修3 令和5年5月2日(月)「野外作業の実際」

- ◆新任者研修4 令和5年5月15日・16日(月・火)「遺構の精査・実測」(場所 山ノ神II遺跡)
- ◆新任者研修5 令和5年12月13日(水)「整理作業の流れ」
- ◆新任者研修6 令和6年2月15日(木)「図面と遺物、デジタルデータの収納」
- 会計年度雇用職員(室内整理作業従事職員)新任者研修
 - ◆令和5年12月11日(月)
 - 「土器や石器の置き方、実測道具、実測方法の説明、図化作業の実技など」
 - ◆令和5年12月19日(火)
 - 「遺構図のデジタルトレース、写真データ加工、図版作成の実技など」
- 外部研修への派遣
 - ◆令和5年度全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会 研修開催法人(公財)茨城県教育財団
令和5年11月1日～2日
基調講演「茨城県の弥生時代再葬墓と人面付土器」、分科会研修、視察研修
受講 主幹兼課長補佐 星 雅之 主任主査 佐々木 訓
 - ◆岩手県、一般社団法人岩手県文化財愛護協会「文化財に係るコンプライアンス研修」
令和5年6月30日(金)
「考古資料の国宝・重要文化財指定とその活用～岩手県コンプライアンス 研修～」
講師 文化庁文化財第一課(考古資料部門)文化財調査官(文化財管理指導官) 横須賀 倫達
受講 所長 岩瀬 計 ほかに12名
 - ◆独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
令和5年12月11～15日
「報告書デジタル作成過程」
受講 文化財調査員 野中 裕貴

④ 発刊

●紀要 第43号

当センターの研究紀要として、昭和55年以来発刊している。今年度は論文3編、資料紹介1編を掲載した。

●年報 令和4年度版

令和4年度に当センターが実施した発掘調査・整理・報告書刊行・遺物の活用・普及啓発・研究普及等の業務成果記録を掲載し、平成30年度以降は印刷物とせず、webで公開している。

表9 紀要第43号の内容

(論文)	
執筆者	タイトル
星 雅之 須原 拓	岩手県内における縄文時代の放射性炭素年代測定(AMS法)の集積 - 一章創期から前期末葉までの事例 -
須原 拓	縄文時代における大船渡湾周辺の海産資源利用について - 貝塚資料からの検討 -
村上 拓	縄文時代中～後期移行期の葬制にみる二次元性と空間認知 - 盛岡市手田沢田IV遺跡の廢絶遺構凹地と柄鏡形遺構の検討から -
(資料紹介)	
北田 勲	3Dレーザースキャナー使用についての覚書 - 岩手県工業技術センター保有機器を使用している実践例 -

⑤ 図書管理

●図書台帳の作成

令和5年度新着図書1,374冊のデータベース化と図書台帳作成を行った。センター設立から令和6年3月末日までの図書受け入れ冊数は72,893冊である。

●図書の整理保管

新着図書の記号ラベル貼付けと図書カード作成後に整理・収納し、図書室ほかに配架した。

●図書の貸出

令和5年度は549件の貸出があった。

表10 図書受け入れ冊数

年 度	財団寄贈	県立寄贈	購 入	合 計
平成14年度まで	24,172	5,049	4,010	33,231
平成15年度	1,936	331	247	2,514
平成16年度	1,692	190	51	1,933
平成17年度	2,110	212	71	2,393
平成18年度	1,805	168	155	2,128
平成19年度	1,834	187	69	2,090
平成20年度	2,218	100	39	2,357
平成21年度	1,813	104	56	1,973
平成22年度	1,833	53	24	1,910
平成23年度	1,483	62	79	1,624
平成24年度	1,954	166	50	2,170
平成25年度	1,734	111	43	1,888
平成26年度	1,789	75	148	2,012
平成27年度	1,567	46	30	1,643
平成28年度	1,527	45	24	1,596
平成29年度	1,722	30	35	1,787
平成30年度	1,642	16	97	1,755
令和元年度	1,468	13	57	1,538
令和2年度	1,593	42	39	1,674
令和3年度	1,860	23	38	1,921
令和4年度	1,305	20	57	1,382
令和5年度	1,292	19	63	1,374
合 計	60,349	7,062	5,482	72,893

⑥ カラースライドのデジタル化

過去に発掘調査で撮影したカラースライドについては、退色などの品質低下を免れないことから順次デジタル化を行って保存を図っている。令和5年度は20集分のデジタル化を行った。

⑦ 所内展示

本館玄関ホールにおいて、当センター保管の各時代の遺物資料を展示している。

⑧ ホームページ運営

主な項目と内容

- ・「発掘調査」発掘調査の方法や現在発掘中の遺跡・室内整理の状況を進捗に合わせて逐次紹介。
- ・「現地説明会・現地公開のご案内」現地説明会のお知らせと開催した説明会のレポートを掲載。
- ・「出土品ギャラリー」これまでに調査した遺跡から出土した遺物の代表的なものを紹介。
- ・「いわての歴史年表」主な遺跡を掲載した年表を掲載。
- ・「イベントレポート」公開講座や遺跡報告会など行事の様子を紹介。令和3年度から動画も公開している。

- ・「ムービー」センター創設以来の業務の紹介映像。
- ・東日本大震災関連の発掘調査に関してはコーナーを設けて検索しやすく配置している。
- ・令和5年4月から6年3月までのアクセス数は20,923件で、月平均1,744件である。

⑨ 遺跡見学・体験学習・教職員研修・現地説明会・現地公開

5年度は、小学生の遺跡見学1件、中学生の職場体験1件を受け入れた。教職員研修はなかった。現地説明会と現地公開は、4回実施した。



岡田遺跡・現地説明会



折居遺跡・現地説明会

表 11 現地説明会・現地公開

No.	遺跡名	所在地	期 日	種 別	参加人数	遺跡内容
1	広表遺跡	北上市	令和5年10月14日(土)	現地説明会	86	縄文時代・平安時代集落・狩猟場
2	岡田遺跡	北上市	令和5年10月21日(土)	現地説明会	79	縄文時代狩猟場・平安時代集落
3	山ノ神Ⅱ遺跡	花巻市	令和5年11月9日(木)	現地公開	54	縄文時代狩猟場
4	折居遺跡	花巻市	令和5年11月23日(木・祝)	現地説明会	144	縄文時代集落
計 4 回					363	

4 外部協力

外部組織等からの依頼を受け、講演の講師、研究会等の報告、委員会等の会議への出席や指導委員などや出版物への執筆依頼を受けるなど外部協力を行っている。

(1) 講演・研究発表・会議・指導

表 12 講演・研究発表・報告・会議・指導等

No.	主催者	派遣場所	月 日	内 容	職	氏 名
1	宮古市教育委員会	宮古市崎山公民館	5月12日(金)	第6回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会出席	参事兼調査課長	濱田 宏
2	宮古市教育委員会	宮古市崎山公民館	5月13日(土)	第5回文化財保存活用地域計画策定事業公開講座「文化財の活用事業についてー博物館・埋蔵文化財センターにおける事例ー」講演	参事兼調査課長	濱田 宏
3	シネマ・デ・ア エルプロジェクト	宮古市シネ マ・デ・ア エル	6月10日(土)	映画「掘る女 縄文人の落とし物」上映に係るトークイベント	主任文化財専門員	八木 勝枝
4	桶爪館懇話会	赤石公民館	6月11日(日)	南日語大塚Ⅱ遺跡・北日語城内Ⅰ遺跡・北条館跡について発掘調査報告	文化財専門員	村田 淳
5	明治大学リバ ティアアカデミー	明治大学駿 河台校舎	6月30日(金)	明治大学博物館第70回考古学セミナー 縄文土偶研究の現在 第4講「東北地方の土偶―透光器土偶を中心に―」	主任文化財専門員	八木 勝枝
6	釜石市文化ス ーツ部	釜石市役所	7月25日(火)	第1回橋野高砂跡史跡整備検討委員会出席	主任主査	金子 佐知子
7	宮古市教育委員会	宮古市崎山公民館	8月23日(水)	第7回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会出席	参事兼調査課長	濱田 宏

No.	主催者	派遣場所	月日	内 容	職	氏 名
8	岩手考古学会	盛岡市総合福祉センター	11月18日(土)	北東北三県考古学会合同シンポジウム『北東北の平安時代墓制』「岩手県の平安時代墓制の概要」の発表	主任文化財専門員	西澤 正晴
9	岩手考古学会	盛岡市総合福祉センター	11月18日(土)	北東北三県考古学会合同シンポジウム『北東北の平安時代墓制』「岩手県における平安時代の方形周溝」	文化財専門員	村田 淳
10	一関市教育委員会	当センター	12月14日(木)	骨寺村荘園遺跡出土遺物についての調査指導	文化財専門員	村田 淳
11	一関市教育委員会	当センター	12月14日(木)	骨寺村荘園遺跡出土遺物についての調査指導	主任文化財専門員	福島 正和
12	東北日本の旧石器文化を語る会	デーリー東北新聞社	12月16日(土)・17日(日)	岩手県岡田遺跡の調査成果	主任文化財専門員	北村 忠昭
13	宮古市教育委員会	崎山公民館	1月25日(木)	第8回宮古市文化財保存活用地域計画策定協議会出席	参事兼調査課長	濱田 宏
14	花巻市教育委員会	花巻市土沢振興センター	2月3日(土)	「花巻市大神1遺跡、天ヶ沢遺跡の発掘調査」講演、調査報告会での発言	主任文化財専門員	福島 正和
15	蝦夷研究会	宮古市崎山公民館多目的ホール	2月17日(土)	『古代三陸シンポジウム 閉伊の馬・塚・鉄』「三陸の12世紀一田願車堂前遺跡などからみた平泉と三陸一」発表	主任文化財専門員	福島 正和
16	釜石市教育委員会文化スポーツ部	釜石市役所	2月20日(火)	第3回種野高伊勢史跡整備検討委員会出席	主任主査	金子 佐知子
17	北上市教育委員会	現代詩歌文学館	3月2日(土)	北上市岡田遺跡の発掘調査概要報告	主任文化財専門員	北村 忠昭
18	北上市教育委員会	現代詩歌文学館	3月2日(土)	北上市広表遺跡の発掘調査概要報告	主任文化財専門員	須原 拓
19	明治大学文学部	明治大学駿河台校舎	3月2日(土)	岩手県域における後期中業土偶の構成	主任文化財専門員	八木 勝枝
20	岩手県教育委員会	トーサイクラシックホール 岩手	3月14日(木)	第1回高地性集落落着調査に関する検討会議出席	文化財専門員	村田 淳
21	(一財)奥州市文化振興財団	奥州市埋蔵文化財センター	3月16日(土)	奥州市道跡発掘調査報告会での作風敷道跡の調査報告	主任文化財専門員	北田 勲
22	(一財)奥州市文化振興財団	奥州市埋蔵文化財センター	3月16日(土)	奥州市道跡発掘調査報告会での中林下道跡の調査報告	文化財専門員	村田 淳

(2) 執筆等

表13 執筆等

No.	依頼元	出版物	発行日	内 容	職	氏 名
1	ニュー・サイエンス社	考古調査ハンドブック 巻環状列石	10月20日(金)	主要環状列石の事例分析(西平内1遺跡)	参事兼調査課長	濱田 宏
2	ニュー・サイエンス社	考古調査ハンドブック 巻環状列石	10月20日(金)	環状列石と居住域―集落と葬祭センター説―	主任文化財専門員	八木 勝枝
3	奈良文化財研究所	古代集落の構造と変遷 3	12月16日(土)	律令国家岡縁域における集落の構造と変遷―一階級部北部の集落―	主任文化財専門員	西澤 正晴
4	岩手考古学会	『北東北の平安時代墓制』北東北三県考古学会合同シンポジウム資料集	11月18日(土)	「岩手県における平安時代の方形周溝」及び「平安時代墓制集成【岩手県】」	文化財専門員	村田 淳
5	古代城壕官衙遺跡検討会	古代城壕官衙遺跡検討会50周年大会記念資料集 古代東北の城壕・官衙遺跡	2月22日(木)	島田II遺跡・沢田田遺跡	主任文化財専門員	福島 正和
6	同志社大学水ノ江和同教授	令和3～5年度科学研究費基礎研究(C)課題番号21K00977 日本列島における縄文磨製石斧の基礎的研究	2月29日(木)	第3章 日本列島の縄文磨製石斧 3. 各地の状況 ②東北	主任文化財専門員	八木 勝枝
7	(一財)奥州市文化振興財団	奥州市道跡調査報告会資料	3月16日(土)	作風敷道跡調査報告資料	主任文化財専門員	北田 勲
8	(一財)奥州市文化振興財団	奥州市道跡調査報告会資料	3月16日(土)	中林下道跡調査報告資料	文化財専門員	村田 淳

表 13 執筆等

No.	依頼元	出版物	発行日	内 容	職	氏 名
9	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財 研究所	デジタル技術による文化財 情報の記録と利活用 6	3月28日(木)	PEAKIT画像を活用した土器実 測図と遺物図版～岩手県山田 町浜川目沢田1遺跡の実例～	主任文化財専門員	須原 拓
10	岩手県教育委 員会・岩手県 立博物館	岩手県立博物館調査研究報 告書第37冊 「岩手におけ る環状列石関連遺跡調査報 告書－洋野町西平内1遺跡 発掘調査報告書－」	3月29日(金)	西平内1遺跡の調査史 「三陸道関連調査の概要」	参事兼調査課長	濱田 宏

公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員名簿(令和5年度)

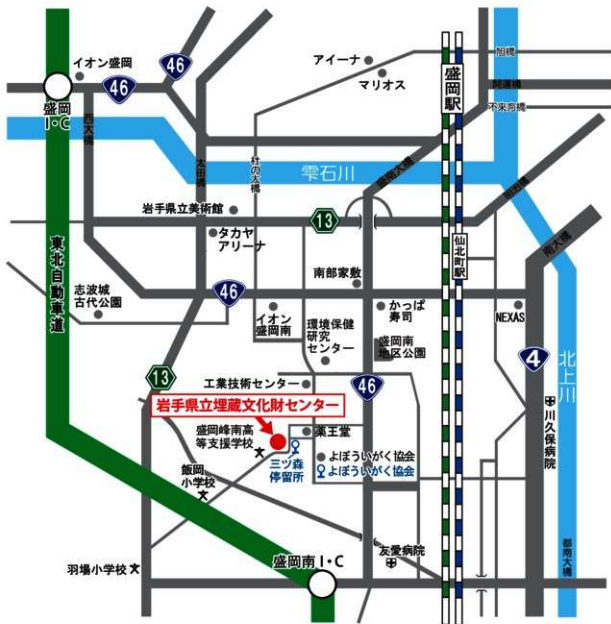
理事兼所長 岩瀬 計

〔総務課〕

総務課長	山崎 隆	総務事務員	大志田 苗穂子
主任主査	佐々木 訓	"	武田 秀徳
主 事	松尾 健生	"	福井 真生野
"	藤澤 花帆	"	小野寺 美沙
		"	藤原 明美

〔調査課〕

参事兼調査課長	濱田 宏	文化財専門員	川又 晋
主幹兼課長補佐	星 雅之	"	村田 淳
"	阿部 勝則	文化財調査員	野中 裕貴
主任文化財専門員	杉沢 昭太郎	調査補助員	富川 悟
"	溜 浩二郎	"	袖林 清
"	村上 拓	"	長沼 宏行
"	西澤 正晴	"	銀形 信(5月採用)
"	村木 敬	室内整理作業主任	村松 紀子
"	福島 正和	"	安本 桂子
"	北村 忠昭		
"	八木 勝枝		
"	須原 拓		
"	北田 勲		
主任主査	小山内 透		
"	金子 佐知子		



アクセス

- 東北新幹線盛岡駅、JR東北本線仙北町駅下車
- 盛岡駅発岩手県交通バス 飯岡線湯沢団地経由矢巾営業所行き 三ツ森停留所下車
ゆいとびあ東線よぼういがく協会行き よぼういがく協会下車徒歩5分
- 仙北町駅西口より徒歩約30分
- 東北自動車道盛岡南インターチェンジより車で10分

(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地

TEL (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

E-mailアドレス i-maibun@echna.ne.jp

ホームページ <http://www.iwate-maibun.jp>

年 報

令和5年度版

発 行 令和6年7月1日

発 行 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11地割185番地
TEL (019) 638-9001
FAX (019) 638-8563
